

《令和5年度 研究会活動紹介》

研究会名	代表者氏名
大乘經典思想研究会	伊久間洋光
研究会名 略称: 大乘經典思想	所 属: 大正大学 非常勤講師
活動紹介	
<p>【活動内容】本研究会は大乗仏教における最も重要なテキストの一つである大品系般若経のうち、古形を保ちながら未だ全体の研究がなされていない Gilgit 写本般若経 (Gilgit manuscript of the Larger Prajñāpāramitā) について、全体の transliteration の公開を中心とする総合的な解明を目指す。既に校訂のなされた大品系般若経のサンスクリットテキストにはネパール系『二万五千頌般若』があるが、後世の論書の影響を受けて構成が改変されている。然るに本研究において Gilgit 写本般若経の全体像を解明することで、論書の影響を受けていない大品系般若経サンスクリット本が初めて明らかになる。そのことから、本研究の成果は、鳩摩羅什訳『摩訶般若波羅蜜経』(別名『大品般若経』)をはじめとする大品系般若経の漢訳諸本及び『大品般若』を注釈対象とする『大智度論』の新たな研究基盤となろう。また本研究会はブラーフミー文字 (Gigit/Bāmiyan Type I) で記された写本を読む貴重な機会であり、写本研究に関心のあるメンバーの参加を期待する。</p>	
<p>【活動実績】※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など「Gilgit写本Larger Prajñāpāramitāの翻刻研究」『大正大学総合佛教研究所年報』vol.43, 2020. 「Gilgit写本Larger Prajñāpāramitāの翻刻研究(2): fols. 38r-53r」『大正大学総合佛教研究所年報』vol.44, 2021. 「Gilgit写本Larger Prajñāpāramitāの翻刻研究(3): fols. 53v-72v」『大正大学総合佛教研究所年報』vol.45, 2022.</p>	
<p>【令和5年度活動計画】今年度は月一回、木曜日午後オンライン研究会を行う。Gilgit写本般若経は約300葉からなり、三分冊での翻刻研究の出版を計画している。現時点ではfol. 72まで検討を終えていることから、今年度、来年度にかけ第一分冊の出版を目指す。また上記に加え、今年度は研究会メンバーによる法華経中央アジア写本(Kashgar写本・Farhad-Beg写本)のリーディングを行い、若手研究者に中央アジア梵語写本解読の機会を提供する。</p>	